

令和3年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	5	学校名	県立日立工業高等学校					課程	定時制	学校長名	吉澤和彦					
教頭名	平野敬靖										事務長名	岩下豊				
教職員数	教諭	9	養護助教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	0	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	1	技術職員等	1	計	15
生徒数			1年次		2年次		3年次		4年次		合計		合計クラス数			
	小学科		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	総合学科		3	1	4	1	5	0	5	0	17	2	4			

2 目指す学校像

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの能力・適性・個性を伸ばすとともに「自ら考える力」を育て、創造力豊かな人間の育成をめざす学校 ・社会の変化に主体的に対応できるよう望ましい人間関係を築かせ、社会で自立できる心身ともに健康な人間の育成をめざす学校 ・「ものづくりを通じた人づくり」の工業高校の伝統を継承し、生徒一人ひとりの夢や希望の実現を支援していく学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	学習意欲の希薄な生徒や授業態度になお改善の余地のある生徒が見受けられる。	基礎学力を定着させるため、わかる授業をどう推進するか。
進路指導	卒業後のビジョンや就職に対する目的意識が曖昧でフリーターや場当たりの進路選択をしてしまう生徒が見受けられる。	4年間(3年間)を通し、自己の適性を見いだす進路指導をどう推進するか。
生徒指導	基本的な生活習慣が乱れがちな生徒や社会的マナーに対する意識の低い生徒が見受けられる。	規律ある生活態度、規範意識の高揚、また他者への思いやりの心の育成をどう推進するか。
特別活動	生徒が学校行事や定通大会に積極的に参加するようになり、行事内容のレベルも高くなってきた。	生徒が行事を通して良い人間関係を築いたり、主体的に活動できるように企画・運営をするか。 キャリア教育に関わる活動について、学びのプロセスを記述し振り返ることができるキャリアパスポートの作成と活用。
働き方改革	生徒や保護者への対応が多く、事務処理等の仕事が増加傾向にあり、超過勤務になっている。	書類作成等の事務処理や各会議等の効率化。

4 中期的目標

- 1 「わかる」授業を推進し、基礎学力の向上と定着を図るとともに、教員の校内研修及び希望研修を積極的に受講させる。
- 2 全職員が一体となり生活指導に取り組み、日常生活に必要な社会のルールやマナーをしっかりと身につけさせる。
- 3 勤労観・職業観を育てる進路指導を行いながら、人間としての在り方・生き方を学ばせる。
- 4 各種行事に工夫を凝らし、生徒の帰属意識を高揚させる。
- 5 地域からの信頼と期待を得るために積極的な情報発信に努める。
- 6 身近な仕事から効率化できる仕事を選定し、超過勤務時間の削減に取り組む。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基礎学力の向上と定着	①生徒の能力実態に応じた題材や単元を選択し、わかる授業・興味関心を高める授業を展開する。 ②授業規律の確立に努める。 ③3年間でも卒業できるメリットを活かし、学習意欲の向上を図る。
全教職員の一体化とコミュニケーションの重視	④全職員による生徒の規範意識の高揚、マナーの向上に取り組む。 ⑤全教職員の連携を図るため積極的な情報交換に努める。
勤労観・職業観を育てる進路指導	⑥全日制の進路指導部との連携により、的確な進路情報を提供する。 ⑦資格取得のための補講体制を強化する。 ⑧インターンシップ等を積極的に活用し、就労意識の向上を図る。
生徒の帰属意識の高揚	⑨特活部を中心に、校外学習・クラスマッチなど学校行事の充実に努める。 ⑩継続的な部活動を奨励し、定通体育大会での入賞を目指す。
地域への積極的な情報発信 地域との連携	⑪中学校訪問を積極的に行い、本校定時制総合学科の存在意義をアピールする。 ⑫定期的なホームページの更新、フォトニュースへの投稿に努める。 ⑬地域の人的・物的環境を生かし、教育活動の向上を図る。
総合学科の確立	⑭県内唯一の定時制・工業高校総合学科として、独自性を図り、充実に努める。
働き方改革の推進	⑮自らの人間性や創造性を高め、生徒に対して効果的な教育活動を行うよう努める。